

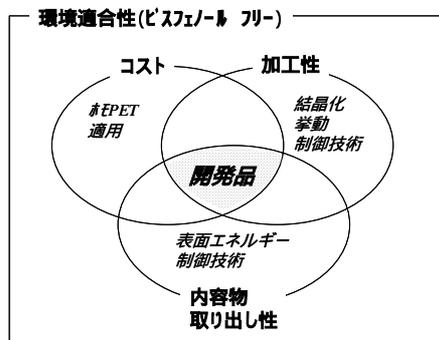
食缶用新ラミネート鋼板「ユニバーサル・ブライト」

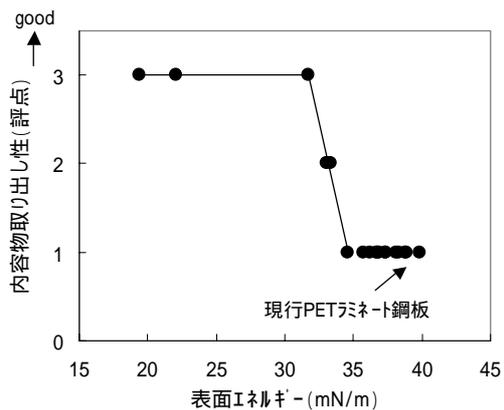
New Film Laminated TFS for Food Can “Universal Bright”

1. はじめに

近年、製缶業界では、地球環境の保全、塗装作業時の労働環境問題、安全性など多くの問題を有する有機溶剤を用いる塗装が敬遠され、水溶性塗料への転換、あるいは熱可塑性樹脂のラミネートが進められている。食品缶詰分野においても、これまでは塗装鋼板が使用されてきたが、塗装に含まれるビスフェノールが環境ホルモン（外因性内分泌攪乱物質）にあたるため、EUでは規制の動きも見られる。このような状況のもと、環境ホルモンを含まず、かつ現行の塗装鋼板と同等以上の性能（加工性、密着性、耐食性、内容物取り出し性）をもち、現行の製缶設備に適応可能なラミネート鋼板の開発が望まれていた¹⁾。

そこで、当社は、「内容物取り出し性」を始めとする食缶の要求特性を満たし、かつ低コストで製造可能な食缶用新ラミネート鋼板を世界で初めて開発、実用化した。開発コンセプトを図1に示す。





評点	3	2	1	取り出し前
内容物取り出し易さ	内容物の取り出しが容易。カップに取出後、カップに内容物の付着残りがほとんどない状態。	内容物の取り出しがやや困難。取出後、カップに内容物の付着が多少認められる状態。	内容物の取り出しが困難。取出後、カップに内容物の付着が多く認められる状態。	内容物；肉、卵、オートミールの混合物 レトルト条件 121 × 90分間
内容物取出し後の外観				

表 1 内容物取り出し性の評価方法